

令和6年度学校評価アンケートの分析と課題 一覧

令和6年度学校評価会議(自己評価)

分 掌	分析《目標(=あるべき姿)と現状とのギャップ等》	課題《ギャップを埋めるために必要なこと》と対策《具体的な施策》
総 務	<p>保護者アンケートでは、「PTAの参加していない」という意見と、「本校の防災計画や防災対策がわからない」という意見が多かった。</p> <p>しかし、今年度は防災関係に関しても「防災の日」等を行い、生徒や教員からかなり好評であったことや、PTAへの参加が少ないとしても学校と保護者間の連携に現在のところ特に問題はない。</p>	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>《対策》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、「危機管理マニュアル」や「大地震・大津波発生の対応案」等が作成中であり、また、でき次第、HPへのアップ等が検討されている。 ・PTA、同窓会などの外部との連携などは、50周年記念事業準備委員会などを通して、かなり良好な関係が築けている。さらに発展していくとよい。
教 務	<p>教師用アンケートにおいて指導と評価の一体化、資格取得、授業に必要な施設設備の項目では前年度を下回った。特に今年度の課題としてあげていた「指導と評価の一体化」については、数値が逡減しており、教師生徒ともに今後より一層の理解と充実が必要である。生徒用アンケートでは意欲、家庭学習の項目が低い状態で推移しており、改善が必要である。</p>	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「指導と評価の一体化」について充実させる。 ・生徒の学習への意識を向上させる。 <p>《対策》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価システムについて職員生徒への周知徹底を図る。 ・意欲的に学習に向かわせる指導を組織的に行う。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣やスマホ、特に SNS の利用に関して、保護者アンケートではほとんどの家庭で指導していると答えている。しかし、学校が期待する家庭の教育力と、実際の家庭の教育力に大きな差があるのではないかと感じられるのが現実である。 ・「他者を尊重する意識を育む指導」があまり知れ渡っていないのは、指導不足の面もあるが、指導の実態が伝わっていないのも原因ではないかと考える。 	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者を巻き込んだ生徒指導の実践体制が十分とは言えない。 ・なぜ現状のような生徒指導がされているのか、生徒自身が理解できていない。 <p>《対策》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導部便り等を活用して、保護者に本校の生徒指導の理解を深めてもらうとともに、保護者がなすべきことを認識させる。 ・ルール作りに生徒も参画させ、生徒指導を自分ごととして捉えさせる。
進路指導	<p>保護者アンケートの回答で、「進路に関する情報提供」に関して、昨年より少し評価が下がっている。今年度から就職に関して、これまでと状況が変わったこともあり、生徒や保護者も不安に感じている面があると思われる。就職に限らず進学に関しても、早めの情報収集と提供を心がけ、科目選択などにも効果的なアドバイスができるようにしていきたい。</p>	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進学を希望する生徒の人数が減ってきているので、就職・進学希望者を問わず上位グループを形成することが難しい。1年生のうちから、いかに学力向上のモチベーションを保たせるかが大きい課題であると考ええる。 <p>《対策》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進学、就職を問わず、基礎学力を定着させるための学習習慣定着に向けた働きかけをする。(朝学習、家庭学習課題の出し方、学び方のアドバイス等) ・進路に関する情報提供(進路講話、進路学習会、進路だより等)
特別活動	<p>今年度は、部活動が活性化されるように「兼部」や「臨時」の制度を実施したところ、教師用アンケートにおいて、「部活動が活性化されるように工夫されている」の項目が A と B を含めて昨年よりも肯定的な割合が増えた。しかし、相変わらず部活動の少人数化や休部状態が多く、厳しい運営状況になっている。そこで更なる制度の改善の見直しや工夫が必要である。</p>	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数でも活性化するための環境整備とバランスのよい運営方法の確立をする。 <p>《対策》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒が部活動に入り、意欲的に活動できるような環境を整える。 ・職員の配置や部活動の運営について意欲的に向かわせる状況を組織的に行う。
健康教育	<p>「清掃」に関して、昨年度に引き続き生徒・保護者とも肯定的な意見が高くない。生徒数の減少により清掃区域の割当が困難になっている現状もある。</p> <p>「教育相談」や「健康管理」「特別支援」の評価は昨年度を上回っている。反省を踏まえ、保健だよりや教育相談だよりを活用したことも功を奏したと考える。</p>	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校舎内外の美化の推進。 <p>《対策》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大清掃及び清掃週間の効果的な活用。(重点項目の周知強化とスモールステップでの取組・評価。) ・通常清掃区域以外の清掃の日の設定。(学校安全日に合わせ、月1回程度。) ・委員会の活用。
教育情報	<p>図書館の利用に関して、昨年度に引き続き、肯定的な回答が低く、図書館の利用促進が課題である。教育情報部として独自に行ったアンケートの結果から、生徒にそもそも読書の習慣がない事が図書館利用が少ない原因だと考えられる。</p> <p>SNSに関連した問題行動も発生しているため、他分掌と連携して注意喚起をしたい。</p>	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の利用促進 ・情報モラル教育 <p>《対策》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の図書館運営の取組について学び、取り入れる。 ・蔵書のバライティを豊富にする。 ・生徒指導部と協力し、注意喚起の機会をもつ。